

マネジメント関連

CPSM (Certified Professional in Supply Management) <http://www.ismjapan.org/aboutcpsm/index.html>

■運営団体 日本サプライマネジメント協会 (ISM)

■概要

『購買・調達のエキスパート』であることを証明する資格。アメリカ発祥の購買の職業資格「C.P.M. (Certified Purchasing Manager)」が前身で、北米やヨーロッパでの認知度は高い。基本的な購買・調達のプロセスに加え、サプライチェーンマネジメント、戦略的調達経営、ロジスティクス、CSR (社会的責任) 経営、企業倫理、SOX (企業改革) 法、BCP (事業継続計画) さらには、プロジェクトマネジメントなど、国際化を目指す企業の購買・調達担当者、バイヤーには欠かすことのできない知識体系が含まれている

■取得方法

3科目 (基礎・戦略・経営) の試験すべてに合格し、資格申請をして認定を受けること。資格の有効期間は3年。更新するには取得後3年間に60CEH (Continuing Education Hours) を取得し、申請する必要がある。CEHとは、継続学習時間のことで、ISM主催の各種会議 (CAPS円卓会議、購買セミナー、講演会)、継続教育セミナーや研究会に参加することで、内容に応じたポイントが付与される。これらの会議に参加できない場合、CPSM資格試験に再受験し、合格することでも60CEH獲得でき、資格更新が可能

■合格基準

すべてコンピュータ式、マークシート選択方式 (4択問題) で、3科目構成。各科目70%以上の正解で合格となる。試験は日本語、英語のいずれかで受ける

■前回受験者数 (合格率)

セミナー受講者の場合、ほぼ100%が合格する

■累計合格者数

世界で約3000人 (日本では20~30人)

■受験資格

4年制大学卒以上であること、3年以上の購買実務経験 (助手・補助業務を除く) を有することなどが求められる

■試験日程

米ISMへ願書提出後、各自で試験言語・日時・場所を試験会社 (Pearson VUE) とWEB上または電話で決める

■受験地

東京、名古屋、福岡

■取得費用

ISM会員: 受験料180ドル (1科目)、資格認定料90ドル
非会員: 受験料265ドル (1科目)、資格認定料150ドル

■難易度

北米や欧州では権威ある資格として知られるだけに、難易度は高い。知識だけでなく、実地経験がなければ答えることが出来ない問題も多い。ISMが開設しているセミナーなどに参加するなどの対策が必要